



東京都千代田区

Chiyoda City

〒102-0074
 東京都千代田区九段北1-2-14
 担当課：保健福祉部(千代田保健所)健康推進課
 ☎03-5211-8172 FAX03-5211-8192
<http://www.city.chiyoda.lg.jp>
 Eメール：kenkousuishin@city.chiyoda.lg.jp

本区のデータ

■面積 11.64km²

■位置

東西が東経139度43分から47分まで、南北が北緯35度40分から42分までで、東京都23区のほぼ中心にあります。東は中央区、西は新宿区、北は文京区と台東区、南は港区と、それぞれ隣りあっています。



■人口

国勢調査

	平成22年10月1日	平成17年10月1日	平成12年10月1日
昼間人口	819,247人	853,382人	855,172人
夜間人口	47,115人	41,778人	36,035人
世帯数	25,560世帯	20,768世帯	16,285世帯

住民基本台帳

		平成26年6月1日
人口	男	27,823人
	女	28,000人
	計	55,823人
世帯数		31,412世帯

本区の概要

都心回帰の流れの中、定住人口は平成13年(2001)年以降一貫して増加を続けており、外国人を含む住民基本台帳人口は5万人台まで回復しました。一方で、定住人口の約17倍(全国第一位)に相当する約82万人の昼間区民が活躍する非常に特徴的な区です。

千代田区は、昼間区民を活力とするとともに、より一層の自治権拡充により自律した自治体として「千代田市」を目指すことを基本方針に掲げています。

その実現に向け、職員数の削減や全事務事業のコスト分析、民間活力の導入などの行財政構造改革を推進することで生み出した財源を活用し、全国の自治体をリードする独創的で独自性のある施策を次々と実施しています。

- ・全国で初めて罰則付き路上喫煙禁止を盛り込んだ「生活環境条例」の制定
- ・全国初の幼保一元化園である「いずみこども園」の創設
- ・大都市圏では初となる「高校生医療費助成」の実施

▼春のさくらまつりには100万人が訪れる



▲区の中央には、面積の12%を占める「皇居」

支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

自殺には多様かつ複合的な原因及び背景があることを踏まえ、分野や行政・民間等の別に捉われることなく、多様な関係機関・団体、地域が一体となって、自殺対策を推進することが必須である。そのため、区全職員及び区内在住者・在勤者を対象に心に悩みを抱える人を適切な相談機関につなぐことが出来る施策を実施する。

さらに、若年層の自殺者割合が全国よりも高いことから、若年層の自殺対策につながる施策など地域実情に対応した自殺予防施策の推進を図る。

<具体的な取組み>

1 地域支援ネットワークの構築

目的 心に悩みを抱えた精神障害者がボランティアの支援を受けたり、専門機関に相談しながら地域で自立した生活を送ることができるように必要な体制を整備する。

(1)心の健康づくり推進会議

対象 専門医、区内医師会代表、社会福祉法人代表、家族会代表、民生委員等

内容 区の精神保健施策を効果的に推進するために、区の事業について、専門医等で構成する会議に諮り、専門家による提言や意見を受け、施策に活かすとともに情報交換を行い、各機関と連携を図る。

沿革 平成20年度開始

実績 毎年、年1回開催

(2)講座

対象 一般区民(在勤者)及び区職員等

内容 精神障害者や悩みをもった区民が適切な相談機関を受診することができるように、精神保健についての基礎知識を持った支援者を養成する。

沿革 平成22年度より事業開始

実績	平成25年度	ゲートキーパー養成講座	参加者数	区民等18名、職員30名
	平成24年度	ゲートキーパー養成講座	参加者数	区民等28名、職員22名
	平成23年度	精神保健ボランティア講座	参加者数	区民等17名

(3)精神障害者支援食事会

対象 一人暮らしで心に病を持つ区民

内容 心に病を抱える精神障害者等がひきこもることなく、地域で自立した生活を送ることができるように、ボランティアが手作りした季節感ある料理を同じ悩みを持つ仲間と食べて、近況や悩みを打ち明けたり、行政サービスなどの情報を取得する。

沿革 平成22年度より事業開始

実績 平成25年度 3回 参加者延べ数17名

平成24年度 3回 参加者延べ数24名

平成23年度 2回 参加者延べ数11名

(4)警察・保健所連絡会議

目的 区内警察署と保健所の相互理解を深め、警察官通報などの対応に際し、より適切な連携を図ること

対象 区内三警察署生活安全課

内容 年1回、区内警察署と保健所との連絡会を開催し、精神障害者への対応・支援における連携のあり方についての検討、情報交換等を実施している。

沿革 平成24年度より事業開始

(5)医療機関マップの作成

目的 心に悩みを抱える人が、気軽に相談を受けることができるようにするため

内容 区内の精神科、神経内科等の医療機関情報や都や区などの相談窓口の内容等を掲載したマップを作成し、関係機関及び区民等に配付している。

沿革 平成22年3月 第1版発行 平成25年10月 改訂版発行

2 心の相談室

対象 区内在住者及び在勤者で心に不安を抱える人や、認知症やうつ病の疑いのある高齢者及びその介護者、家族等

内容 精神科医と保健師による予防、治療、社会復帰等について相談、指導援助を毎月2回開催。(予約制)

沿革 昭和55年11月 事業開始

平成20年4月 認知症相談室と統合

実績 平成25年度 16回 相談者数延べ数51人

平成24年度 21回 相談者数延べ数67人

平成23年度 22回 相談者数延べ数68人

3 訪問相談

対象 引きこもりがちなケースや訪問が必要と思われる者

内容 精神科医、保健師が訪問相談を実施する。



©千代田区2010

千代田区消費生活センターの
イメージキャラクター

4 講演会

対象 区内在住者や在勤者

内容 「心の健康」に関する内容の講演会を開催する。(年1回)

平成25年度は「中高生の心を考える～ネットにはまる子供たち～」のテーマで開催した。

実績 平成25年度 1回 参加者延べ数19名

平成24年度 1回 参加者延べ数28名

平成23年度 1回 参加者延べ数20名